

留萌市「農業を核とした産業創出プロジェクト」

新技術(水耕・養液)栽培試験事業視察研修

平成 28 年 6 月 8 日

納内地域集落対策協議会では、留萌市の「新技術(水耕・養液)栽培試験事業を視察研修し、留萌市役所の海野農政係長から説明を受け水耕栽培ハウスを見学しました。1年を通じて作れる農作業を目指して、旧幌糠中学校の施設を利用した地熱型ハウスによる水耕栽培を実施。水耕栽培で収穫した「ミニチンゲン菜」「ホワイトセロリ」「ベビーリーフ」などは無農薬で通年栽培し、「るもいリーフ」の商品名で地元のAコープや旭川市内の飲食店、ホテルなどで販売。また10月中旬から2月中旬までは、市内の障がい福祉サービスの利用者などを作業員に、協力農家のほ場で収穫した大根を「てぎり干し大根」として販売し、農業と福祉の連携による6次産業化に取り組んでおり大変参考になる研修となりました。

